

授業科目名 (英文名)	教職論 (教職課程科目) (Introduction to Teaching Profession)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1
担当教員	杉野 竜美	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義の目的は、社会と学校、学校教育、教員の役割、世界の教育などに関する知識を得て、学校教育および教職についての理解を深め、自らの教育観と教師像を形成することである。</p> <p>到達目標は、教育、公教育、学校、教員の役割について説明することができる(知識)、学校教育を取り巻く環境から連携の重要性について知り、他者と協力することができる(態度)、グループ発表を通して「教授」のための準備及びその実施ができる(技能)ことである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 これまで経験した学校生活や、これまでに会った教育者を振り返るとともに、学校や教職に関する新たな知識を獲得する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 教育とは何か / 学習指導の形 / 教師像 3. 教育の役割 4. 学校教育と教員の役割 5. 教員の資質向上 6. 教職観の変遷 / 生徒指導 7. 今求められる力 8. 学級経営と公務分掌 9. 学校内および学校外の連携、チーム学校 10. 子どもの発達特性と特別支援教育 11. 教育改革 12. 国際理解教育 13. 教育活動(指導計画、学習指導) 14. グループ発表 15. まとめと評価 / 教師像 		
テキスト	テキストは使用しない。授業にて、資料を配布する。		
参考文献	授業内で随時紹介する。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 到達目標として記載した知識・態度・技能の到達度に応じて評価する。</p> <p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題の提出、または宿題確認テスト：20% ・各授業の振り返りシート、またはミニツツレポート：30% ・グループ発表：40% ・受講態度・授業への参加度：10% 		
履修上の注意・履修要件	<p>本授業では、反転学習、グループワーク、DVD鑑賞などを取り入れて、学生が主体的に学ぶスタイルをとるので、学生には積極的に授業参加することを期待する。</p> <p>また、毎回宿題(予習・復習)を出し、その知識の定着を評価の基準とするので、やむを得ず休んだ場合は宿題の内容を確認すること。</p>		
実践的教育			

